

2022年

安全報告書



島原鉄道株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

日頃より島原鉄道をご利用頂きありがとうございます。

また、鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当社は、常にお客様への安全確保を第一の使命に掲げ、地域の皆様に安全で快適な輸送を提供する為に法令遵守のもとに安全輸送及びサービスの向上に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。

今後とも、安全で安心できる鉄道を目指してまいりますので、ご利用のお客様並びに沿線の皆様のご理解を頂くと共に、皆様からのご意見を頂ければ幸いです。

島原鉄道株式会社
代表取締役社長 永井和久

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全従業員に周知し安全輸送に努めています。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組む。

(2) 安全目標(2021)

- 責任事故を発生させない
- 労働災害事故の撲滅

①安全目標に対する重点施策

部 門	重点施策
運 転 ・ 運 輸 部 門	○ヒューマンエラー防止への取組み ○ヒヤリハット情報の共有・活用
車 両 部 門	○ヒューマンエラーを起こさない
保 線 部 門	○ヒューマンエラーの防止
電 気 部 門	○運転保安設備の改修

②安全目標及び重点施策に対する取組みとその達成状況

部 門	目標達成のための具体的取組み	達成状況
安 全 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○点呼、ミーティングを活用して注意喚起を促す ○労働安全衛生に対する意識の高揚を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設障害によるインシデント1件、ヒューマンエラーによる輸送障害1件発生 ○労災事故1件発生
運転・運輸部門	<ul style="list-style-type: none"> ○添乗指導計画に基づく指導強化 ○ドライブレコーダーの情報を乗務員と共有しながら、個々の指導を徹底する ○前年度の実績(ヒューマンエラー4件)を全職場で共有し、半数以下を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○添乗指導計画に基づく指導強化が図れた ○ドライブレコーダーの活用により、乗務員との情報共有が行われた ○ヒューマンエラー4件発生(前年同数)目標達成できなかった ○ヒヤリハット情報(7件)を全職場で共有、活用された
車 両 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○未経験者や経験の浅い社員が増えているため、机上、実技教育を取り入れながら目標達成に取り組む ○熟練者による各人の技術力の確認、個人に合った教育の実施 ○「報告・連絡・相談」の再徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○熟練者による各人の技術力の確認及び個人に合った教育が実施された ○「報告・連絡・相談」の再徹底は不十分と判断し、次年度の目標とする
保 線 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○確実な列車退避を行う ○朝のミーティングにて注意喚起を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○列車退避の際、作業機器の電気コード撤去が確実に実施されない事案が発生した(1件) ○各分区で作業前ミーティングにおいて、安全作業に係る注意喚起が行われた
電 気 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○安全輸送設備整備計画に基づく設備整備の確実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全輸送設備整備は計画通り実施された

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故の発生状況

年 度	2019	2020	2021
事故件数	1	1	2
死傷者	0	0	3
うち死亡者	0	0	0

責任事故は発生していません。

(2) インシデントの状況

踏切保安設備の故障により、無遮断のままの列車が踏切を通過するインシデントが発生しました。

(3) 輸送障害(30分以上の列車遅延や運休)の発生状況

2021年度、30分以上の列車の遅延や運休が発生した件数は以下のとおりです。

項目	件数	特記すべき輸送障害
自然災害等	3	塩害(1)、大雨(1)、地震(1)
施設・設備故障など		
車両故障		
係員	1	係員の失念による車両損傷
第三者障害など	3	外的要因(3)

(4) 行政指導等

2021年度の行政指導等はありませんでした。

4. 安全確保への取組み

(1) ハード面での取組み

① 施設整備事業

当社では、国・県・沿線自治体からの支援を頂き施設整備事業を実施し、設備の更新・改善及び踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備を図り安全輸送の向上を図っています。

項目	2020年度(実績)	2021年度(実績)	2022年度(計画)
分岐器の重軌条化	—	—	—
橋梁の改修	—	6箇所	6箇所
レール交換	1,901m	1,370.5m	1,873.84m
枕木交換(TPCマクラギ・合成マクラギ・木まくらぎ)	1,000本(合計) (820本(TPC)) (180本(木))	1,608本(合計) (1,482本(TPC)) (126本(合成))	2,948本(合計) (2,786本(TPC)) (162本(合成))
踏切遮断機更新	12台	15台	31台
踏切警報機更新(LED全方向型)	10箇所	12箇所	26箇所
踏切制御子更新	8箇所	10箇所	17箇所
踏切遮断反応灯更新	6箇所	12箇所	24箇所
踏切器具箱更新	4箇所	5箇所	6箇所
信号機構更新(LED化)	2箇所	4箇所	6箇所
通信ケーブル更新	—	—	—
踏切保安設備の整備	—	—	—

※ 2022年度は、レール交換と同時に、枕木交換1,852本を計画しています。

(内訳：TPCマクラギ1,773本＋合成マクラギ79本)

② 安全のための支出

安全輸送の確保のため、2021年度においては、鉄道施設・車両の修繕費17百万円、安全対策等の設備改良220百万円を行いました。

【 安全設備整備の状況 】



第 123 号踏切警報機（施工前）



第 123 号踏切警報機（施工後）



古部駅～大正駅間
レール交換・まくらぎ交換
（施工前）



古部駅～大正駅間
レール交換・まくらぎ交換
（施工後）



神代駅～多比良駅間
レール交換・まくらぎ交換
（施工前）



神代駅～多比良駅間
レール交換・まくらぎ交換
（施工後）

(2)ソフト面での取組み

①教育・訓練計画に基づき、従事員への教育・訓練を実施し、安全意識の高揚を図りました。

○2021年度は、「鉄道災害に係る覚書」に基づき、踏切事故発生を想定し連絡通報訓練及び乗客の迅速な救助活動を行うため消防署と合同訓練を実施しました。

●踏切事故に伴う火災発生想定訓練(2021年12月15日 90名参加)



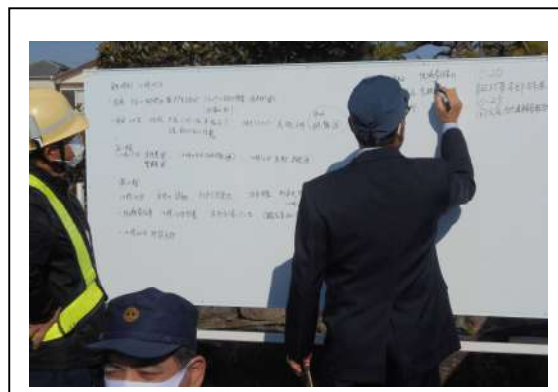
消防署との合同訓練①



消防署との合同訓練②



消防署との合同訓練③



消防署との合同訓練④

●鉄道警察隊・島原警察署との合同によるテロ対応訓練(2021年12月21日 41名参加)

不審者に対する対応能力と鉄道テロに対する意識の向上を図る為に、鉄道警察隊・島原警察署と合同で車内での不審者遭遇を想定した実技訓練を実施しました。



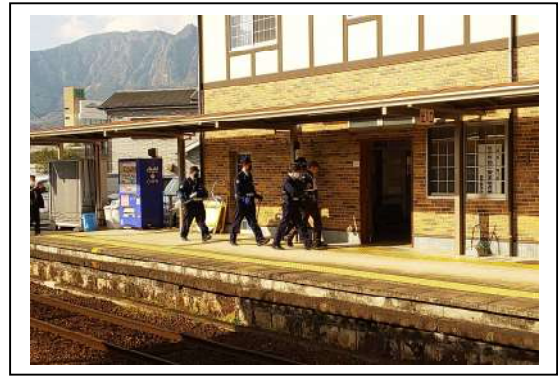
テロ対応訓練①



テロ対応訓練②



テロ対応訓練③



テロ対応訓練④

○その他訓練等

●諫早駅駅ビル消防訓練(2021年11月16日 5名参加)

駅ビルのテナント事業者および駅ビル管理会社、JR九州と合同で消火器の取扱い訓練を実施しました。



諫早駅消防訓練①



諫早駅消防訓練②

●島原駅消防訓練(2021年12月16日 47名参加)

島原消防署と合同で待合所での火災を想定した避難訓練および消火器の取扱い訓練を実施しました。



島原駅消防訓練①



島原駅消防訓練②

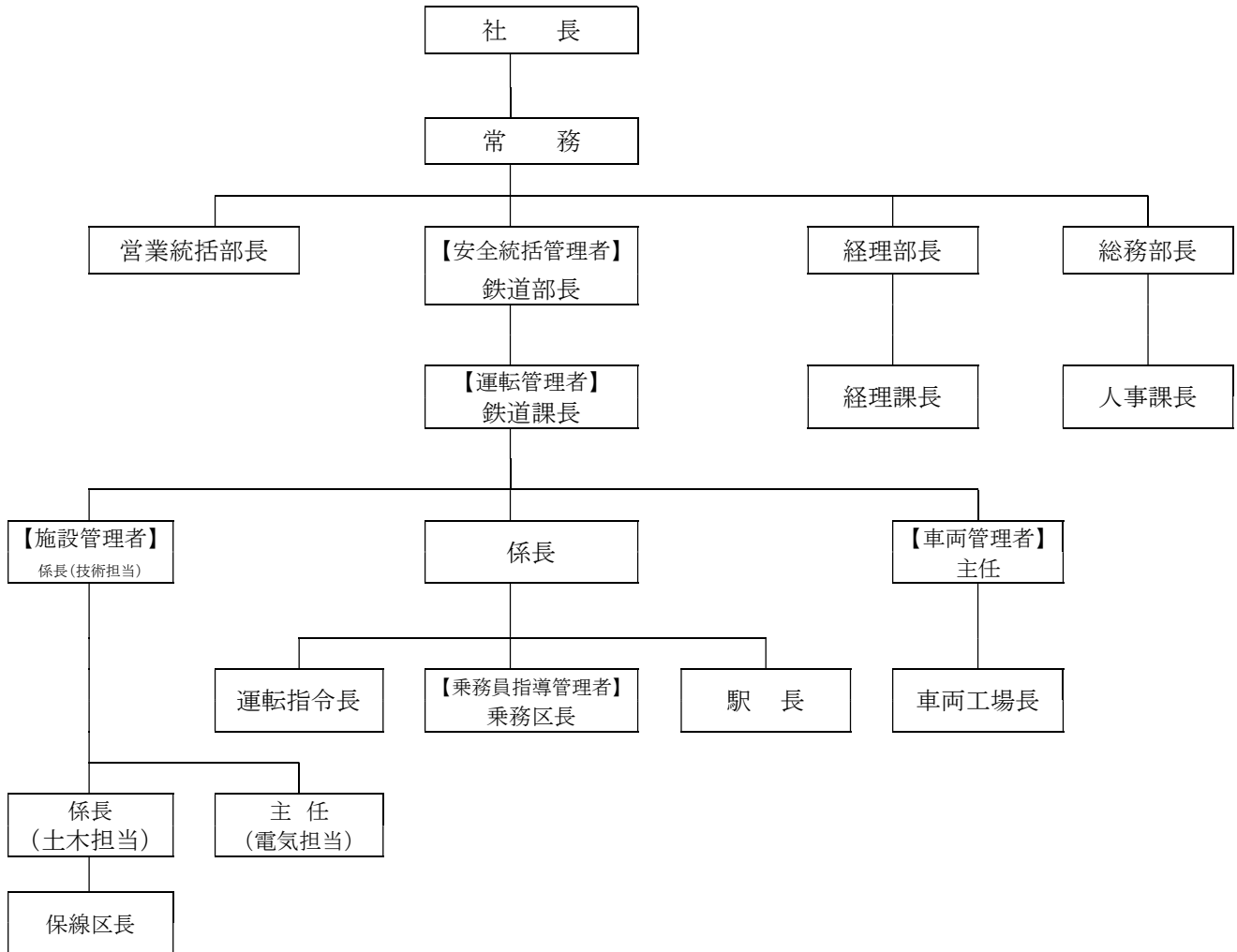
また、運輸・運転部門、車両部門、保線部門については、各々の部門において訓練・教育を実施しています。

②毎月、社長をはじめ会社幹部による職場巡視を行い、現業部門との対話を行いながら安全管理状況等の確認を行いました。

5. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、平成18年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他管理者等が、それぞれの責務を明確にした上で、安全確保の為に役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
【安全統括管理者】 鉄道部長	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
【運転管理者】 鉄道課長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
【乗務員指導管理者】 乗務区長	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
【施設管理者】 鉄道課係長(技術担当)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
【車両管理者】 鉄道課主任	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、予算、人事に関する事項を統括する。
経理部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、予算、に関する事項を統括する。

6. 利用者・住民の皆様との連帯

(1) ご意見箱の設置

利用者の皆様の声をお聞きする為に有人駅(本諫早・多比良・島原・島原船津)に、ご意見箱を設置し、安全輸送及びサービスの向上に反映させています。

(2) こども110番の駅

職員駅では、「こども 110 番の駅」として地域の子供達を守る為の取組みを行っています。

[主旨]

- ・「こども 110 番の駅」では、不審者(犯人)から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみではなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しい駅作りを目指します。
- ・「こども 110 番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めに来た場合、こどもを保護し、こどもに代わって 110 番通報を行うなどの対応をとります。
- ・実施駅・・・本諫早駅・島原駅・島原船津駅

(3) 踏切事故防止のお願い

踏切に入る前には必ず一旦停止し左右の安全確認を行って通行して下さい。

2021年度は、直前横断による遮断桿折損が9件発生しています。重大な事故に繋がりますので、警報音が鳴りだしたら踏切の通行はしないで下さい。

列車の安全な輸送にご協力いただくとともに、鉄道施設内での異常等を発見された場合は直ちに運行指令所(TEL0957-62-6623)までご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) ホームにおけるお客様転落事故防止等について

①「移動用円滑化の促進に関する法律」に基づいて、駅・ホーム等の改良工事に合わせて整備を推進していきます。

②視覚に障害をお持ちの利用者による、ホーム転落事故が全国的に増加しております。

当社としても、注意喚起やホーム監視等に努めてまいります。視覚に障害をお持ちの利用者と認めた場合は、「声かけ・見守り」を行って頂き、万が一危険であると思われる場合は、係員、運行指令所までご連絡頂けるようお願いいたします。

事故防止と安定輸送に、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全の取組に対するご意見をお寄せ下さい。

島原鉄道 鉄道部 鉄道課
TEL. 0957-62-2232 FAX. 0957-63-5712
E-mail train@shimatetsu.co.jp
■ 月～金 9:00～17:00(祝休日を除く)